

土木工学・建築学委員会
IRDR 分科会（第 26 期・第 2 回）
IRDR 分科会 IRDR 活動推進小委員（第 26 期・第 2 回）
インフラレジリエンス分科会（第 26 期・第 3 回）
複合災害と人口減少時代の建築・都市・地域分科会（第 26 期・第 3 回）
合同会議

議事要旨

日 時：令和 6 年 5 月 27 日（金）10:00～12:00

会 場：日本学術会議／Zoom（ハイブリッド開催）

出席者：〔委員〕竹内、寶、多々納、西川、佐竹*、田村圭、臼田、小野裕、川崎、林*、藤倉、藤原、目黒*、江川、勝見、高橋、土屋、那須*、松田*、伊藤、岩永*、奥山、小野悠、片桐、金尾、田村和、永野*、西*、久田、松尾*、三輪*、持田、山田*、山本、栗林、小浪*、小森*、ショウ*、廣木、深澤*、松浦、山崎（以上名簿順，敬称略，*印はオンライン参加）

〔事務局〕藤田（同）

欠席者：〔委員〕今村、大原、鈴木、塚原、平田、堀、岡村、小林、中村、田井、田島、小池、田端、西口、村上（同）

議題等

（１）本日の趣旨

竹内委員長より挨拶があり、本日の合同分科会開催の趣旨が説明された。

（２）各分科会からの報告

＜インフラレジリエンス分科会＞

・高橋副委員長

当分科会の前身であるインフラ高度化分科会（第 25 期）の活動に関して紹介があり、その成果および今後の課題・展開について報告された。

・松田委員

地域防災で自助意識を促進する流れに対し、それが困難な弱者をケアする視点からの問題提起があり、「行動する個人」と「情報弱者」を念頭に置いた避難施策に関する理論的側面の整理、および、現場で地域住民を含めた研究会活動の実践的側面について紹介があった。

＜複合災害と人口減少時代の建築・都市・地域分科会＞

・久田副委員長

人口減少下にあるわが国で、複合災害を考えなければいけない時代に、災害に強い建築物はどうあるべきか、その基準についての考え方について、過去の取り組み事例の紹介を踏まえて報告があった。

・小野委員

計画の視点から、1) インフォーマル市街地の都市計画、2) 誰もが担い手となる地域社

会を目指した自治会 DX 社会実験、3)サイエンスをいかにまちづくりの意思決定に活用しうるか、の3つの話題提供があった。

< IRDR 分科会 >

- ・ 寶 委員長

IRDR 分科会の体制、JHoP など他の関連組織との連携も含めて、第 25 期の活動実績および第 26 期の活動目標について報告があった。

- ・ 臼田委員

災害発生時の情報の共有や利活用に関する取り組みとして、SIP4D（基盤的防災情報流通ネットワーク）の開発と運用、ISUT（災害時情報集約支援チーム）と能登半島地震における現地活動について紹介された。

（3）今後の分科会の連携について

- ・ どの分科会も防災減災に関する問題意識はほぼ共通している。各々が得意な分野でアウトプットを出すとか、逆に共同でアウトプットを出すとか、連携していくことでクリエイティブな成果が期待できる。こうした分野を超えた議論は非常に興味深いので、Web 開催も含め、定期的に行うことを提案したい。レポート・提言を共同で出すことも視野に入れて良い。

（4）その他

- ・ 議決事項

「ぼうさい国体 2024 in 熊本」における IRDR 分科会主催の公開シンポジウム開催について、賛成多数で承認された。

配布資料

資料 0. 議事次第_建築・都市・地域_インフラ_IRDR 合同会議

資料 1. 各分科会の設置提案書

資料 2. 各分科会の委員名簿

資料 3. 建築・都市・地域分科会 資料 1

資料 4. 建築・都市・地域分科会 資料 2

資料 5. インフラレジリエンス分科会 資料 1

資料 6. インフラレジリエンス分科会 資料 2

資料 7. IRDR 分科会 資料 1

資料 8. IRDR 分科会 資料 2

以上

文責：土屋・松田

（インフラレジリエンス分科会）